

令和7年度 名古屋市障害者差別相談センター事業者向けセミナー 開催報告

1 開催状況

開催日時:令和7年11月21日(金)午後2時30分~午後4時30分

会場:ウインクあいち 1204号室

開催方法:来場型とオンライン(ハイブリッド)

参加者数:来場参加者38名 オンライン参加者29名 合計67名

参加者の業種:観光分野(ホテル、旅行支援等)、商品・サービス分野(小売業、製造業、放送業等)、交通分野(タクシー、バス等)、教育分野、福祉サービス分野 等

※お詫び

第2部後の質疑応答において、会場参加者からの質問内容がオンライン参加の皆様に聞こえない状況でした。大変申し訳ございませんでした。

2 内容

<第1部> 障害者差別解消法について

講師:山田 規貴(名古屋市障害者差別相談センター)

「障害」の考え方、障害者差別解消法の説明として①障害を理由とする不当な差別的取扱いの禁止②合理的配慮の提供義務、建設的な対話について、「名古屋市障害者差別相談センターリーフレット」を基にお話させて頂きました。



<第2部> 心のバリアフリーセミナー

講師:三代 達也氏(車いすトラベラー)

これまでのご経験から、日本と外国とのバリアフリーの違いや情報発信のバリアフリーについて、バリアフリーが充実したホテルの紹介等、動画を交えて分かりやすくお話し頂きました。セミナーの最後には、「気づくことで見える世界が変わる」ことを教えて頂き、まずは小さな一步から、本日のセミナーが気づくきっかけになればと、今後に繋がるヒントを頂きました。

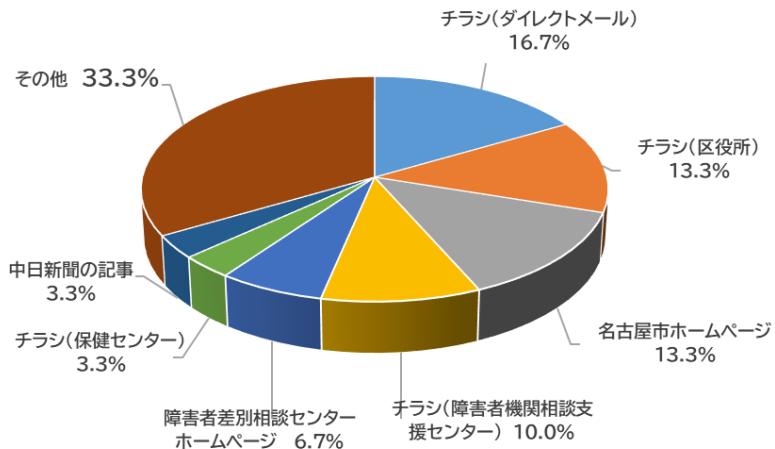


3 アンケート結果

◆アンケート回収数:31名(回収率46.3%)

◆主な質問と回答内容

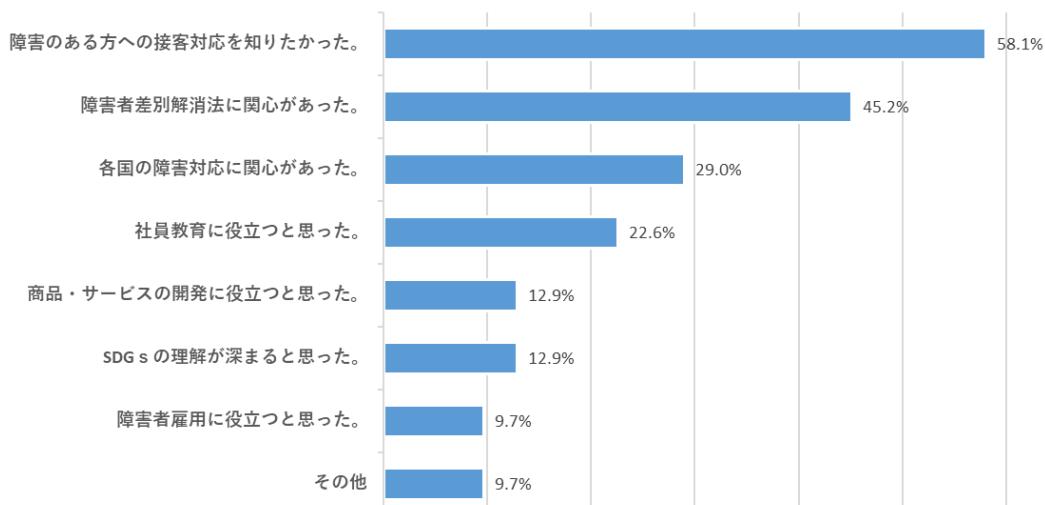
①セミナーの開催を何で知りましたか?



【その他の具体的な内容】

- ・社内広報
- ・講師SNS
- ・チラシ(イベントで配布された)

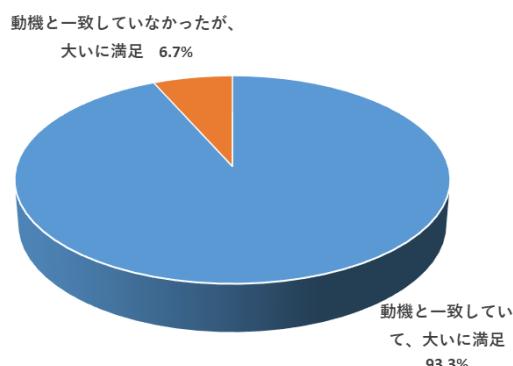
②セミナーに参加された動機は何ですか?(複数回答)



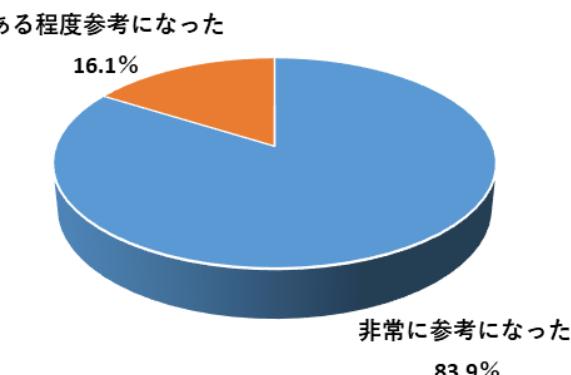
【その他の具体的な内容】

- ・講師に興味があったから。

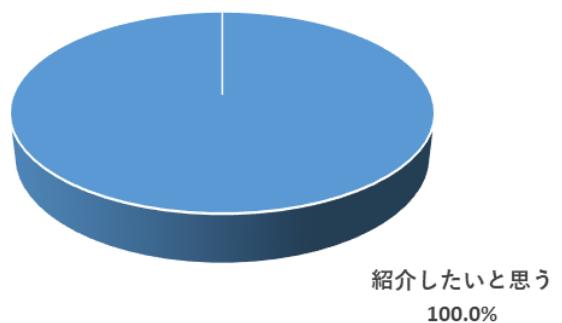
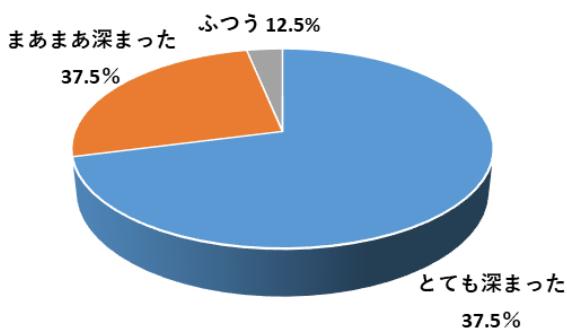
③参加の動機を満たす内容でしたか?



④業務における付加価値のヒントになりましたか?



⑤障害者や障害について理解は深まりましたか？ ⑥セミナーの内容や当センターについて紹介したいと思いますか？



⑦感想(一部抜粋)

- ・第1部、第2部とも非常にためになるお話でした。特に三代様のユーモラスな講演は実体験を交えながらの話に加え映像もあり、より理解度を深めることができたように思います。どんなことに困るかを知り、知った上で気づきを得ることができることに重要性を感じました。ホテルとして完全な状態でバリアフリーを提供することができなくても、迎え入れる気持ちや声掛けが一番重要であり、互いの勇気の上で成立させることなんだな、と思いました。「とも・かく・うご・こう」はまず職場の仲間に広めていきたいと思います。(観光分野)
- ・知覚動考 がとても印象的です。頸椎損傷で通所しかされておられない方にもっと外出を増やして、人生を楽しんで貰いたいと切に思いました。
- ・「知覚動考」や「笑声」の言葉が心に残った。講話の中に何度も出てきた「来年、愛知で行われるパラ」だが、今のままでは、十分なおもてなしはできないと思う。浮かれているのではなく、しっかり自分のできることを考えなくてはいけないと思った。(教育分野)
- ・理解しやすく出前講座をみんなで受けたいと思いました。(交通分野)
- ・今回の講演を通じて、車椅子ユーザーについて自分が抱いていた思い込みに気づかされました。これまで「足が不自由な方が利用するもの」というイメージが強かったのですが、実際には手にも不自由さを抱える方がいることを知り、理解が浅かったことを反省しました。また、車椅子ユーザーが 6 人に 1 人という身近な存在であることにも大きな驚きを覚えました。今後、当社にも事務職として車椅子を利用される方が入社されます。今回の学びを踏まえ、段差や高さといった物理的なバリアの解消に努めるとともに、対話を通じて業務上の困りごとを把握し、働きやすい環境づくりを進めたいと考えています。一人ひとりが能力を発揮できる基盤を整えることが、組織としての成長にもつながると感じました。
- ・小中学生相手にどんな講演会をされるか、ぜひ聞いてみたい。(教育分野)
- ・知ること、行動することの大切さを改めて感じました。
- ・体が不自由な人でも困る事なく共存できる街づくりをして頂きたいなど切に願っております。
- ・障害とはなにか考えさせられました。
- ・今回のセミナーを通じて障害者の苦悩を改めて知り、もっと障害者の方たちが前向きな気持ちで外に出られる環境を作りたいと思った。

⑧今後、障害者理解に関するセミナーで取り上げてほしいテーマ

- ・非協力的態度や無関心に対しての行動変容啓発の手法について
- ・障がい者にとってあってほしいバリアフリー設備
- ・ホテルスタッフのサービスに対して求めるバリアフリー
- ・車いすの方の浴槽、トイレ利用時の移乗方法など
- ・神経発達症(発達障害)者の雇用は、どの様なアプローチが良いか、など
- ・差別事例に対する解決方法。